調査まとまる

農村総合整備計画作成の指定を受けた小須戸町では、七月に都市計画の市街化区域を除く全地域の世帯（八五八人）を対象に、農村総合計画の基本構想の資料とするために、アンケート調査を実施しましたが、ここにその結果を公表します。

なお、この調査に回答された皆様及び配布、回収された方々のご協力に対して紙面をかりて厚く感謝申し上げます。

アンケート調査の回答者数は七〇七人で、回答率は八十二・四%でしたが、部落別の回答者の明細は、別表のとおりです。

質問一、あなたはこの町に生活してどのように感じますか

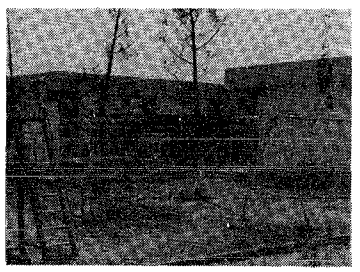
※この問に対する回答を要約すると、小須戸町に将来も住みたいが、それには花や緑の生かされた自然があり、歩道等を設け、交通事故のない農村造りが必要ということと、医療施設、学校施設の充実等が挙げられます。

質問	まったくそう思う	いくぶんそう思う	あまり思わない	わからない
1. 上下水道をそなえた文化生活がしたい	427人	150人	87人	43人
2. 自然がある健康な生活がしたい	544	88	49	26
3. 交通などの便のよい生活がしたい	485	120	76	26
4. 盗難や犯罪の不安を感じる	164	254	248	41
5. いつも交通事故の不安がある	329	232	105	41
6. 今の職業の将来性に不安がある	215	242	210	40
7. もっと良い職業につきたい	166	174	310	57
8. 老後の生活に不安をおぼえる	189	230	240	48
9. 急病の場合心配だ	311	199	161	36
10. もっと社会的な知識や教養を身につけたい	306	248	118	35
11. こどもには高校以上の教育をうけさせたい	406	159	89	53
12. 子供の教育に適している	85	284	235	103
13. 高等学校を誘致したい	435	146	82	44
14. スポーツをしたい	172	222	252	61
15. 芸術や芸事をしたい	114	192	343	58
16. もっと良い家に住みたい	217	195	243	52
17. 歩道が必要だ	478	120	72	37
18. 他町村に比べ物価が高い	194	213	249	51
19. 他の部落(町内)に移りたい	28	37	577	65
20. 小須戸町に将来もひきつづき住みたい	458	96	108	45

別表

アンケート調査回答数

集落名	回答数 男	女	不明	計
小須戸1	53人	12人	人	65人
小須戸2	16	4		20
横川浜	51	15	3	69
小向	31	9		40
水田	28	4		32
鎌倉	58	13	2	73
天ケ沢1	31	8	1	40
天ケ沢2	43	5		48
新保1	51	3	4	58
新保2	55	3		58
竜玄	26	10	3	39
矢代田1	39	10	1	50
矢代田2	39	15	2	56
矢代田3	53	3	3	59
計	574	114	19	707



町の財政にも活用される
60歳になった簡易保険

簡易保険は、国の経営する非営利の生命保険として大正五年十月に生れ、今年で六十周年を迎えます。

創業六十年は、いわば人生の「還暦」にあたりますが、保有契約高二十八兆円、資金総額七兆円を越えて、ますます庶民のための生命保険として親しまれ利用されて、皆さんの生活の安定と福祉の増進にその役割を果たしています。

このような生命保険としての本来の機能のほかに、積立てられた資金が地方公共団体に長期低利に融資されて、地方の開発や生活環境の整備に活用されたり、地方公共団体の一時のつなぎ資金として役立てられたりしています。

当町でも、中学校、幼稚園、役場庁舎、住宅、都市計画などの建設事業に、この資金が還元融資されて、町民の豊かな暮らしづくりに奉仕していますが、八月末現在の長期貸付は、一億九千八百五十万円にも達しています。これは町民一人当り二万円近い数字であり、郵便局の簡易保険は、こんなところにも役立っているのです。

また創業六十周年を機会に約款を改善して、短期保険事故の削減廃止及び剰余金の増配などの措置にふみ切り、利用者の利益をいっそう高めることになりました。（写真は簡保資金の融資を受けて建設した幼稚園）

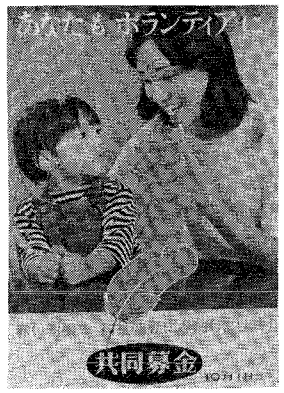
農業総合基本構想アンケート

質問二　次のようなことがらについて日常満足していますか　不満に思っていますか

※この問の集計結果をみると楽しい日常生活をおくるには先ず農道及び部落道の道路拡巾や舗装整備をおこない、農地や家庭の排水路及び処理施設を完備し、幹線水路の管理を良くすれば、蚊やハエの撲滅につながり、また交通安全施設の整備や医療対策等が挙げられています。健康管理面では、公園、広場や遊歩道の設置で、幼児、児童、老人等の体力の向上に役立つ施設と一般住民の小須戸町での働き場等が挙げられています。

質問	満足している	気にならない	不満に思っている	わからない
1. 家の場所	421人	153人	97人	36人
2. 家の日あたり	470	119	76	42
3. 家の周辺の悪臭	185	330	145	47
4. 家の周辺の騒音	181	360	121	45
5. 家の周辺の緑や自然	423	199	51	34
6. 堀などのよごれ	77	199	384	47
7. 蚊やはえの問題	75	202	390	40
8. し尿の収取処理	207	279	166	55
9. ごみの収集	285	235	143	44
10. 家庭排水や雨水排水	170	247	253	37
11. 買物など日常生活の便利さ	177	289	193	48
12. バス，電車などの便利さ	173	241	237	56
13. 郵便ポストや公衆電話の配置	214	303	153	37
14. 街燈の数	183	216	255	53
15. 公園・広場	95	245	315	52
16. 遊歩道について	55	245	352	55
17. 集落内道路の整備	132	195	334	46
18. カーブミラーや信号機の交通安全施設	89	219	346	53
19. 車のこみぐあいや道路の巾	73	231	352	51
20. 幼児教育について	168	353	115	71
21. 小中学校の通学距離	161	241	244	61
22. 消防の設備	196	247	198	66
23. 警察官の数や派出所の配置	161	365	116	65
24. 集会所，公民館，公会堂	288	264	95	60
25. 青年学級、婦人学級、老人大学等の社会活動	191	369	83	64
26. 青年団，婦人会等の活動	109人	372人	152人	74人
27. 医療施設について	84	187	354	82
28. 老人，心身障害者などの福祉施設	92	279	275	61
29. 図書館、美術館、郷土資料などの文化施設	112	319	197	79
30. プール，グランド等のスポーツ施設	150	311	179	67
31. 動物園，植物園等の施設	38	335	243	91
32. 山や農地の排水処理	70	241	320	76
33. 農道の整備	77	212	359	59
34. 農業用水の問題	101	250	258	98
35. 園芸用かん水施設	59	382	141	125
36. 圃場整備について	83	366	147	111
37. 農業技術指導施設	60	311	230	106
38. 小須戸町での働き口	63	253	305	86
39. （家計の中心になっている方の）現在の仕事	203	245	172	87
40. 通勤時間など通勤にともなう負担	100	302	217	88

赤い羽根共同募金にご理解とご協力を



「幸せであるように、それを自分では果せない人びとも残されています。赤い羽根運動はこうした人たちに少しでも多くの思いやりを、お届けしようという助け合い運動なのです。

今年も秋の訪れと共に共同募金の季節がまいりました。毎年赤い羽根募金運動には、町民のみなさまから格別なるご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。共同募金運動は、国民総参加をたてまえとする助け合い精神を基調として行われる善意の募金であります。寄せられました尊い善意は、新時代の要求にこたえ老人福祉施設の建設、ねたきり老人の援護、心身障害者の施設の建設と援護、地域住民の福祉活動などに配分され、大きな役割を果たしております。

本年の赤い羽根共同募金の目標額は、七十五万八千八百円で、これを一世帯当りにみると三百四十円となっております。どうか本年もみなさんの温かい善意を共同募金運動にお寄せくださいますよう、心からお願い申し上げます。

質問三　**（質問二）でお聞きした項目の中で不満をなくすためにすぐにでも新設したり改善したりして欲しいものがてったら教えてください**

（回答）

①堀などのよごれ　②家庭排水や雨水などの処理　③集落内道路の整備　④カーブミラーや道路の巾員　⑤医療施設の充実

質問四　**小須戸町は将来どのような発展の方向に進むことを望まれますか**

項目	回答
農業を中心とした工場も公害もない純農村でゆくべきだ	109
農業のほかに農村工業も導入した農村とすべきだ	308
住宅団地を造成し、都市のベットタウン的農村とすべきだ	115
観光農業もとり入れた農村とすべきだ	60
現況のままでよい	82